

島のひろば

第572号
「島のひろば」編集委員会
電話 04992-2-8256

Eメール・jcposhima@yahoo.co.jp
www3.plala.or.jp/jcposhima/

(検索サイトからは「日本共産党 伊豆大島」)

くらしの相談は共産党町議団へ
山田2-3670 橋本2-3614 小池2-9318

安倍政権、選挙では「社会保障の充実に全力つくす」 選挙が終わったとたん「医療・介護の改悪」ねらう

改悪次々提起 社会保障は



軍事費は過去最大
5兆1085億円
防衛省来年度概算要求

医療・介護分野での改悪メニュー		政府の社会保障審議会などに提案している案から
高齢者の負担増	75歳以上の窓口負担を2割に。自己負担の上 限額を引上げ。介護保険利用料2割に。	
医療費 3割超える負担に道	「かかりつけ医」以外に定額負担。先発医薬品に 負担増。	
サービスとり上げや 負担増	要介護1・2の生活援助など保険外し。福祉用具 貸与の自己負担。市販類似薬の保険外し。	
「地域差」なくす 名目で……	病床削減・在宅復帰を促進。一般病床に居住費 導入。介護認定率縮小など。	
40歳以下から 介護保険料徴収	介護保険料は現在、65歳以上と40歳～64歳に 分けて徴収。政府は40歳未満からも提起。	

戦争法推進する兵器続々	予算要求額
①V22オスプレイ4機	393億円
②水陸両用車11両	84億円
③「おおすみ」型大型輸送艦改修	12億円
④航続距離向上C2輸送機3機	667億円
⑤空輸可能機動戦闘車33両	237億円
⑥最新鋭のFA35戦闘機6機	946億円
⑦新たな空中給油機1機	318億円
⑧在日米軍「思いやり予算」	1946億円(16年度 当初より26億円増)

障のいま必要なのは社会保
心をとりもどし、将来に安
安をなくしていくことので
す。そうしてこそ国民の
消費も増え、経済もよく
なります。財源は富裕層
や大企業ほど負担が低く
なるといった「税金の集
め方の改革などでつく
れませ、みなさんの力を合
せ、社会保険充実を全力
をあげます。



山添 拓
参議院議員

大切な税金は、社会保障、子育て、 若者へ優先して使う政治へチェンジ！

私と「日本共産党」(下)

時得孝良

宗教と 憲法9条と

学生時代世話になっ
た恩師は、出家して遁
世者になった兼好の書
いた「つれづれ草」な
どの研究がご専門だっ
たので、仏教について
も詳しい先生でした。
その影響もあって私
も時たま仏教書などに
目を通すことがあります。
その一冊、『ブツ
ダの真理のことば・感
興のことば』に、「す
べてのものは暴力にお
びえ、すべてのものは
死をおそれる。己が身
をひきくらべて、殺し
てはならぬ、殺さしめ
てはならぬ」という
ブツダのことばがあり
ます。
キリスト教にも、
「彼らは剣を打ち直し
鋤とし、槍を打ち直し
鎌とし、国は国に向
かって武器を持たず、
再び戦争することを学
ばない」ということば
が旧約聖書にあるそう
です。(小学校唱歌
「村の鍛冶屋」の3
番、「刀は打たねど大
鎌小鎌、馬鋤に作鋤、
鋤よ鋤よ、平和の打ち
もの休まず打ちて、日
毎に戦う懶惰(らんた)
心の敵と」というの
があります。旧約聖
書を参考にしたので
しょうか。)

このブツダや旧約聖
書のことばは、「戦争
を放棄し、武力行使も
しない、だからこそど
んな戦力(軍隊)も持
たない」憲法9条の
「魂」に通じるもの
があると思うのです。
今、宗教界では「生
命や自然の尊重と平和
の探求」を共通の原則
にして、核兵器廃絶や

憲法9条を守る活動が
広がっています。
私たち日本共産党も
反社会的宗教団体は別
にして、宗教者と対話
を進め共に共同・協力
しながら活動していま
すが、さらに多くの市
民とも力を合わせ、憲
法を守り抜くためにが
んばりぬきます。
現憲法には、戦前日
本共産党が命をかけて
求めてきた信教・一切
の表現の自由など基本
的人権が30項目盛り
こまれ「侵すことので
きない永久の権利とし
て、現在および将来の
国民に与えられる」と
規定。「命をかけて求
めた」党だからこそ、
「憲法の全条項
を守り、一党制
をとらず、議会
を通して段階的
に改革する」

これが、確固不動の
日本共産党の立場であ
り、私の確信です。

9月議会一般質問

【会期は
8日～16日】

9月8日(木)

●高橋(辰)議員(10時45分～11時15分)

- 1、観光対策(差木地プールの今後の計画等)
- 2、生活道路の安全確保(ブロック塀の危険箇所)外

●坂上議員(11時15分～11時55分)

- 1、大島町の教育問題(小中校の基礎学力向上施策・地方創生と教育について)
- 2、公共施設・インフラの老朽化対策について

●川寄議員(13時30分～14時)

- 1、今後の大島町教育行政のあり方について。
(新教育長任命に際して町として最大課題は何か。
新教育長としての抱負と現状認識は?)外

●鶴崎議員(14時～14時30分)

- 1、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)指定に伴う固定資産税評価見直しについて(レッドゾーン区域指定の固定資産対象、同宅地、雑種地対象の把握)外

◆山田議員(14時45分～15時20分)

- 1、介護用品購入クーポン券制度化を
 - ①介護保険適用外の紙おむつ、食器、履物などの消耗品を島内で購入する際に使えるクーポン券の制度化について検討を。
 - ②現在、厚労省が進めている介護保険サービスの見直しについて、町長の見解は。
- 2、住宅政策への提言。

町営住宅家賃の中に子育て・介護特例を設け、収入基準を超えても安心して住めるように。

- ②空き家バンクを早急に機能させ定住確保対策を。
- ③持ち家を作るための低金利ローンを制度化し、遊休町有地の払い下げ、民間空き地の買い上げ、借り上げによる宅地活用を。
- ④高齢単身者・夫婦が入れる小世帯用住宅の増設。

9日(金)

◆小池議員(9時30分～10時)

- 1、大島町の教育について。
町は、学力向上推進委員会を設置し、児童生徒の
 - ①社会的職業的自立に必要な基盤となる基礎的基本的知識・理解の定着、②思考力・判断力・表現力の向上を目指し、協議・検討が進められている。大島らしい教育とはどのようなものであるか、新教育長の見解を伺いたい。

◆橋本議員(10時～10時30分)

- 1、「交通弱者」と「買い物弱者」の実態調査をし、弱者解消の解決策の具体化を。(どこに困難を抱えている住民がいるか把握し、「大島町基本構想」をもとに交通対策と地域商店の振興対策の確立を。)

●佐藤議員(10時45分～11時35分)

- 1、「漁場整備計画」3年目の漁場回復状況と今後の課題は。
- 2、6次産業化の推進のための構想実現に期待する。



大島観光ホテル玄関前で
左端が河上氏(「旅・猟・
ゴルフ」より)

大島の狩猟のガイドをされた白井潮路さんに生前伺ったことだが、猟期(都の場合11月15日から翌年2月15日まで)になると、河上徹太郎、赤尾好夫、角川源義といった著名人が大島を訪れ猟を楽しんだという。

以下、摘出紹介することにする。氏はG・H・Qに職があつて来た人だが、日本の猟が面白くて、未だに何か仕事を繋いで残っている。日本の猟のどこがいいのか、私なんかにいわせれば人口が多くてこせついでいる我が国では、猟もえげつなくて不愉快が多いのだが、氏は猟か、とを信じることにする。(続く)

大島文学・紀行散策

学者・評論家編

河上徹太郎 「大島の猟」

一

445

時得孝良

文芸評論家として、また、音楽評論家としても名の有る河上徹太郎(1902～1980)に、「大島の猟」という短い文章がある。

初出は、作家の尾崎士郎、尾崎一雄らが出していた文芸誌「風報」の1955年11月号で、後に単行本「自然のなかの私」に収められた。

河上は、なかなかの多趣味の人で、「旅・猟・ゴルフ」と題した随想集があるほどだが、中でも狩猟は戦前からの長い経験の持ち主であつたという。

大島の狩猟のガイドをされた白井潮路さんに生前伺ったことだが、猟期(都の場合11月15日から翌年2月15日まで)になると、河上徹太郎、赤尾好夫、角川源義といった著名人が大島を訪れ猟を楽しんだという。

狩猟できる鳥は、法律で28種類と決まっていますが、大島では、その中のキジ(オスのみ)一日2羽、ユジユケイ5羽、キジバト10羽、ヤマシギなどが人気だったという。

高校生のころだったと思うが、潮路さんが獲物のキジを入れた網のついたリュック?を背負い、猟犬を連れ、ハンター(私たちは「テッポウウチ」と言つた)と歩いていてよく見かけたものだった。

「大島の猟」の冒頭に、「猟期が近づいたので、昨年の思い出を一つ書いて見よう」とあるので、河上が来島したのは、1954年(昭和29)の11月から12月にかけてのことだったと思われる。

以下、摘出紹介することにする。氏はG・H・Qに職があつて来た人だが、日本の猟が面白くて、未だに何か仕事を繋いで残っている。日本の猟のどこがいいのか、私なんかにいわせれば人口が多くてこせついでいる我が国では、猟もえげつなくて不愉快が多いのだが、氏は猟か、とを信じることにする。(続く)